

第3回 関東高等学校・中学校スクランブルゴルフ大会

開催日 : 2021年11月7日(日)

開催コース : 朝霧ジャンボリーゴルフクラブ

本競技は日本ゴルフ協会発行のゴルフ規則(2019)とこのローカルルールと競技の条件を適用する。
本書に記載の無い事項や追加変更がある場合は競技規定やプレーヤーへの通知文書、または競技会場での掲示物に掲載されるので必ず参照すること。
ゴルフ規則によって別に定められている場合や本書に罰が記載されている場合を除き、このローカルルールと競技の条件の違反の罰は、「2打」となる。

「プレー中のホールにおいて、打数が規定打数の2倍になった場合には、ボールをピックアップする。
Par4⇒8打 Par5⇒10打 Par3⇒6打以上になった時点でそのペアはそのホールのプレーを終了し、同伴競技者がホールアウト後、次のホールからプレーを行う。スコアはダブル Par の数字をマーカーのペアがスコアカードへ記入する。」

ローカルルール

- アウトオブバウンズ(規則 18.2)
 - アウトオブバウンズは白杭のコース側を地表レベルで結んだ線によって定められる。
- 異常なコース状態(動かさない障害物を含む)(規則 16)
 - 修理地
 - 青杭を立て、白線で囲まれた区域。
 - グリーンの前後を含み、フェアウェイの芝の長さかそれ以下の区域にあるヤーデージマーキングペイント(スタンスへの障害は除く)。
 - 動かさない障害物
 - 排水溝
 - 小砂利、ウッドチップ、松葉などを使用して舗装した区域。小砂利やウッドチップなどの個体はルースインペディメントである。
 - 複数の動かさない障害物が接している場合、それらはひとつの動かさない障害物として扱われる。
 - 動かさない障害物と白線でつながれている区域は、その動かさない障害物の一部として扱われる。
 - カート道路上の球、スタンスは規則 24-2bの i の救済を受けなければならない。本項の違反は2打罰とする。
- 不可分な物

以下の物は不可分な物であり、無罰の救済は認められない。

 - ペナルティエリア内にある人工の壁や杭でできた構造物。
- クラブと球の規格
 - ストロークを行うために使うドライバーは R&A が発行する最新の適合ドライバーヘッドリストに掲載されているクラブヘッド(モデルとロフトで識別される)を持つものでなければならない。
 - ストロークを行うときに使用する球は R&A が発行する最新の適合球リストに掲載されていなければならない。
このローカルルールの違反に対する罰:失格
- ゴルフシューズ

ラウンド中、プレーヤーは下記の特徴を持つシューズを履いてはならない:
伝統的なスパイクすなわち、地面を深く貫くようにデザインされた 1 つあるいは複数の鋲を有するスパイク(メタル製、セラミック製、プラスチック製、その他の材質かは問わない)。
このローカルルールの違反に対する罰:規則 4.3 参照
- プレーの中断と再開(規則 5.7)
 - 即時中断(落雷等、切迫した危険がある場合)※サイレンなし
委員会がプレーの即時中断を宣言した場合、すべてのプレーヤーは直ちにプレーを止めなければならない、委員会がプレーを再開するまでは別のストロークを行ってはならない。
このローカルルールの違反に対する罰:失格
即時中断中は、委員会がオープンと宣言するまで、すべての練習施設はクローズとなる。クローズとなった練習施設で練習しているプレーヤーは練習を止めるように要請される。その要請に従わなかった場合、失格とすることがある。

- (b) 通常の中断(日没やコースがプレー不能)
規則 5.7b、c、d に従って処置すること。
- (c) プレーの中断と再開の合図は、競技委員が巡回して指示をする。

7. 練習(規則 5.2)

- (a) ホールとホールの間、プレーヤーは次のことをしてはならない。
終了したばかりのグリーンやその近くで練習ストロークを行う。または、終了したばかりのグリーンの表面をこすったり、球を転がすことによってグリーン面をテストする。
- (b) プレーヤーはラウンドとラウンドの間にコース上で練習してはならない。
このローカルルールの違反に対する罰:
最初の違反の罰 : 一般の罰(プレーヤーの最初のホールに適用される)
2 回目の違反の罰 : 失格

競技の条件

1. 参加資格
プレーヤーは「競技規定」で定められる参加資格を満たしていなければならない。
2. スコアカードの提出
スコアリングエリア方式を採用する(プレーヤーの両足がエリアから出た時点をもって提出されたものとみなす)。
3. 競技終了時点
競技委員長の成績発表がなされた時点をもって終了したものとみなす。

注意事項

1. 競技規則に追加または変更のあるときは、クラブハウス内およびスタートホールのティーイングエリアに掲示して告知する。
2. ルールブック(2019 年度版以降)・目土袋・スコップ・グリーンフォークおよび、この競技規則は、学校名・氏名を明記し競技開始から競技終了まで必ず携帯すること。また、今大会の使用球全てに名前(フルネーム)と通し番号を記入することを義務づける。
3. ディボット跡への目土、グリーン上のボールマークの修復を怠り注意を与えられた者は、ペナルティーを科す場合がある。
4. 常に速やかなプレーを心がけ、前の組との間隔を空けないようにすること。
5. スロープレーについては、警告を行うことがある。その後も改善されない場合、規則6-7に従い、ペナルティーを科す場合がある。
6. 荒天等のために、全選手が18ホールズの競技を終了できないと運営委員会で認められた場合、競技委員長の判断で、ホールの短縮をもって競技の成立とすることがある。
7. 故意にスコアの過少申告のあった者または、高校生としてあるまじき行為等があった場合は、連盟規定に照らし合わせて処置・処分する。
7. 茶髪・長髪・パーマネント等高校生の品位を疑うようなヘアスタイルでの試合参加は、厳重に委員会で指導する。
8. 携帯電話はコース内に持ち込まないこと。使用は駐車場のみでクラブハウス内及びコース内は使用禁止。(ただし競技委員、運営委員等は緊急時使用することがある。)
9. 手引きカートの使用を許可する。
10. 距離計測器の使用を禁止する。
11. 打放し練習場においては備付けの球を使用し、スタート前の練習は1人1箱(30球)を限度とする。
12. アプローチ・バンカー練習場は、使用禁止とする。

競技委員長 三浦尚稔

11月7日 スクランブル競技使用グリーン及びヤーデージ
 使用グリーン 駿河コース 右グリーン使用

白ティー マーク 中・高校生 男子選手 / 混合ペア 男子選手

赤ティー マーク 中・高校生 女子選手

hole	1	2	3	4	5	6	7	8	9	前半
Par	4	4	5	3	4	4	5	3	4	36
白	382	347	531	170	352	376	514	109	335	3116
赤	308	347	531	170	296	311	437	103	321	2824

10	11	12	13	14	15	16	17	18	後半	
4	4	5	3	4	4	5	3	4	36	72
382	347	531	170	352	376	514	109	335	3116	6222
308	347	531	170	296	311	437	103	321	2824	5638